

八百津祭り

とき：平成31年4月13日（土）
14日（日）

毎年4月第2日曜の本祭と前日の試楽の2日間、八百津の産土神である大船神社を中心として行われます。舟運で栄えたこの辺りの特徴を最も色濃く残す元禄年間（1688～1704年）に始まった祭りで、中部地方でも他に類を見ない規模のだんじりです。

祭日には、3台（1台の長さ9m、幅3m、高さ6m、重量4t）揃うと1隻の大きな船の形を作る山車がひき出されます。

美しく飾られた勇壮な山車は大きなかけ声とともに引き回され、男達の巧みなテコさばきで街並みを練り歩きます。その熱気にあふれる姿と巨大な山車から、別名「けんか祭り」や「八百津だんじり祭り」ともよばれています。



【13日（土）試楽の予定】

8時頃から3台の山車が各地区〔本郷組（大船神社）・黒瀬組（熊野神社）・芦渡組（神明神社）〕を出発し八百津の街を練り歩きます。

14時30分すぎに八百津大橋上で3台が引き揃えられ、一隻の巨大な船の形になる姿は圧巻です。山車は16時すぎまで町内各地を練り歩きます。

◎みどころ・・・八百津大橋 14時30分頃～15時00分頃（3台の山車が集結）

【14日（日）本祭の予定】

8時頃から3台の山車が各地区を出発。10時30分頃から11時頃にかけて八百津町役場前に集結し、船の形をつくります。

11時からがいよいよ祭りのメイン。男たちの勇壮な掛け声とともに3台揃って役場前から大船神社へ出発します。巨大な山車が車輪をきしませながら民家の屋根すれすれにカーブを曲がる瞬間や、全速力で街並みを走る様は圧巻。

また、大船神社の参道の坂道（あみだ坂）を駆け上がる、力みなぎる場面（11時30分頃から）も見応え十分です。正午ごろ大船神社へ到着。神事や昼食のあと、15時に神社を出発し（神社参道の坂道の引き下ろしも必見！）各地区へ引き返します。

◎みどころ・・・八百津町役場 10時30分頃～11時頃（3台の山車が集結）
十六銀行交差点 11時頃～（カーブを曲がる場所）
大船神社 12時頃～15時頃



※ 日程は天候により変更される場合があります。

駐車場：八百津町ファミリーセンター
連絡先：八百津町役場 電話0574-43-2111

久田見祭り

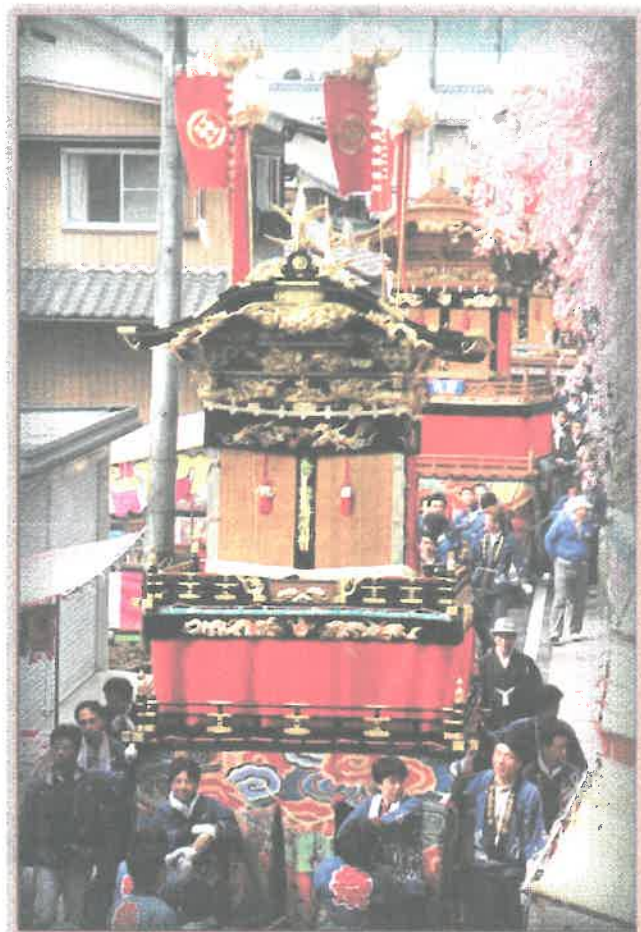
とき：平成31年4月21日（日）

毎年 4月第3日曜日に、久田見の氏神である神明・白鬚両神社で行われます。6両の絢爛豪華な山車が引き出され、それだけでも壮麗な眺めです。

山車の上に設けられた舞台の上では、独創的な繰り人形劇がくり広げられます。その人形劇の動きの秘密は「糸切りからくり」という独特な技法と操作にあり、国の無形民俗文化財に選択され、岐阜県の重要無形民俗文化財にも指定されています。

【21日（日）本楽の予定】

7時過ぎから各地の山車が引き出し（出発）。8時30分ごろ中盛商店街交差点（大澤屋前）に集結し、9時頃には大行列を組んで神明（しんめい）・白鬚（しらひげ）の両神社へ向かいます。その光景はまるで平安絵巻を見るような華麗さです。両神社では6両の山車が引き揃えられ、山車の上で糸切りからくりが順番に奉納されます。



当日の予定は下記の通りです。

中盛商店街交差点	引き出し	9時
白鬚神社	引き出し	10時
神明神社	引き揃え	10時40分
	からくり奉納（必見）	
神明神社	引き出し	12時40分
白鬚神社	引き揃え	13時30分
	からくり奉納（必見）	
解 散		15時



※ 日程は天候により変更される場合があります。

駐車場：久田見出張所北側駐車場

連絡先：八百津町役場 電話0574-43-2111